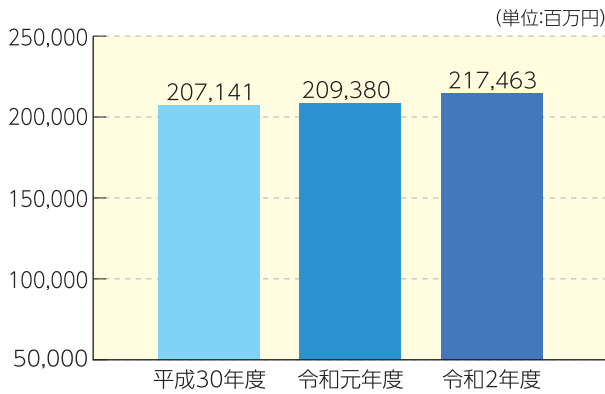


# お客さまに安心してご利用いただくため 健全な経営・収益力の強化に努めます

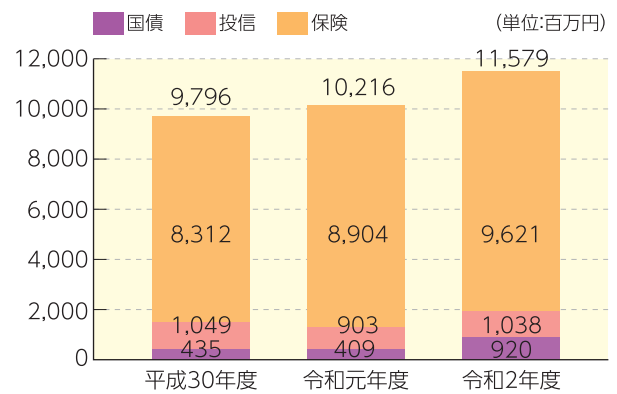
## 令和2年度の業績概要

預金は前年度比3.86%増加の217,463百万円、貸出金は前年度比12.29%増加の96,802百万円となりました。貸出金が前年度に比べ+12.29%と増加したのはコロナ禍において取引先さまに対し積極的な資金繰り支援を行ったためであります。収益については、業務純益は前年度比185百万円減少の387百万円、経常利益は前年度比170百万円増加の300百万円、当期純利益は前年度比42百万円増加の218百万円となりました。自己資本比率は前年度比0.27ポイント増加の12.07%となり、自己資本比率の国内基準であります4%を大きく上回っております。

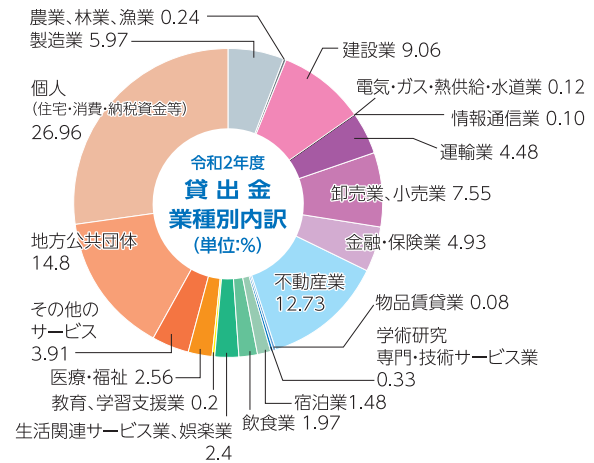
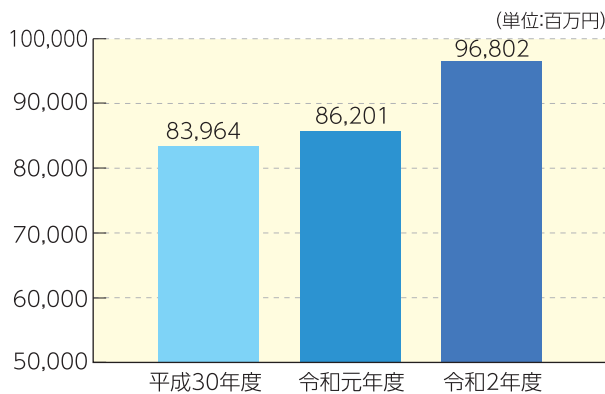
### 預金残高の推移



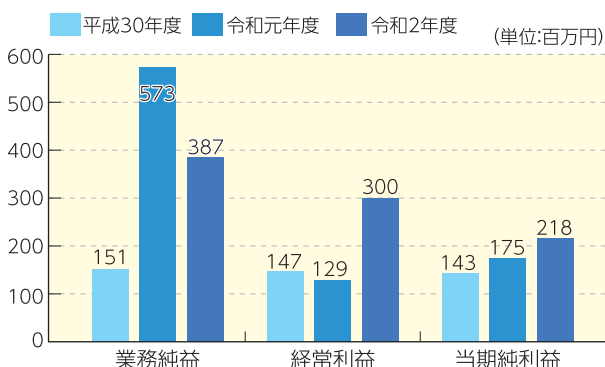
### 預かり資産残高の推移



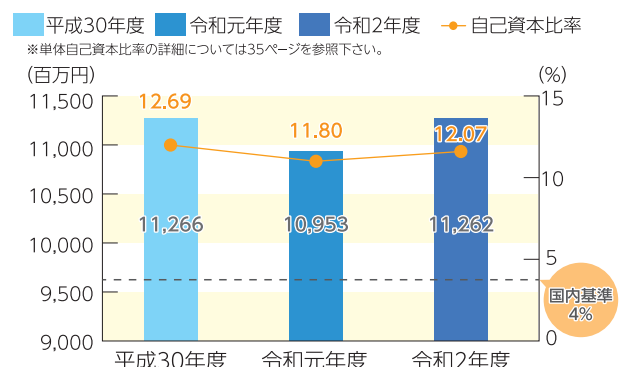
### 貸出金残高の推移



### 損益状況の推移



### 自己資本額・自己資本比率の推移



# 不良債権処理の備えは万全です

当金庫は、資産の健全性確保を目指し、不良債権処理に対して厳格な資産査定を実施し、適正な償却・引当を行っています。令和2年度の金融再生法開示債権ベースの不良債権比率は4.23%、同金融再生法開示債権に対する保全率は89.35%であり、備えは万全です。

## 金融再生法開示債権

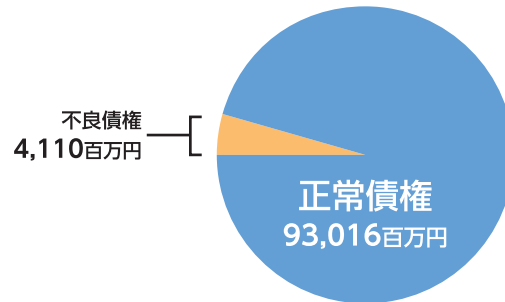
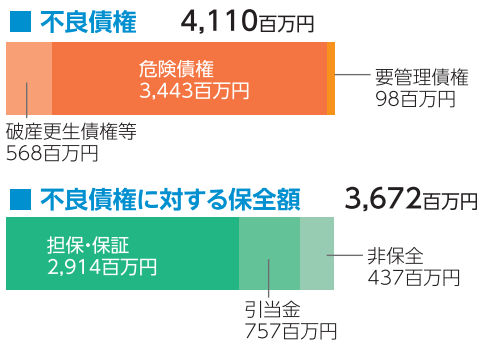
令和2年度金融再生法開示債権額および保全状況 (単位:百万円)

債権区分	債権額 (a)	保全額 (b)	担保・保証額	引当金	非保全額 (a-b)	保全率 (b) / (a)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	568	568	545	22	-	100.00%
危険債権	3,443	3,041	2,309	732	402	88.32%
要管理債権	98	62	59	2	35	63.66%
不良債権合計	4,110	3,672	2,914	757	437	89.35%
正常債権	93,016					
債権額合計	97,126					

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権は、資産査定において「破綻先」および「実質破綻先」に区分された先の債権額です。

■危険債権は、資産査定において「破綻懸念先」に区分された先の債権額です。

■要管理債権は、資産査定において要注意先に区分された債務者に対する債権のうち「3か月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に該当する債権額です。



■ 自己資本額 11,262百万円

不良債権の非保全額 437百万円 に対し十分な自己資本を保有しております

## リスク管理債権

令和2年度リスク管理債権額および保全状況 (単位:百万円)

債権区分	債権額 (a)	保全額 (b)	担保・保証額	引当金	非保全額 (a-b)	保全率 (b) / (a)
破綻先債権	63	63	61	2	-	100.00%
延滞債権	3,947	3,544	2,792	752	402	89.81%
3か月以上延滞債権	46	46	46	0	0	99.30%
貸出条件緩和債権	51	16	13	2	35	31.26%
リスク管理債権	4,109	3,671	2,913	757	437	89.34%
上記以外の貸出金	92,693					
貸出金合計	96,802					

■破綻先債権は、資産査定において「破綻先」に区分された先の貸出金です。

■延滞債権は、資産査定において「実質破綻先」および「破綻懸念先」に区分された先の貸出金です。

■3か月以上延滞債権は、元本または利息の支払が3か月以上延滞している貸出金で「破綻先債権」、「延滞債権」に該当しない貸出金です。

■貸出条件緩和債権は、経営再建・支援を図ることを目的として、金利の減免、元本・利息の支払猶予などを行なっている貸出金のうち「破綻先債権」、「延滞債権」および「3か月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。